荒尾市立府本小学校　校長便り　№９３

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和８年４月２７日(月)

自分を磨く

私は何もしなければ「ただの人」だ。しかも、仕事に関してはかなり不器用だ。だからこそ努力して自分を磨かなければならないと思っている。

最近、この状況を楽しめるようになった。というのも、何でもすぐにできるようになると、喜びもすぐに消えてしまうような気がするからだ。できないから努力を積み重ねる。目標達成までの過程では、時間もかかるし、苦しみや辛さもあると思う。でも、それを乗り越えた時の喜びは、お金では買えない掛け替えのないものになるのではなかろうか。

職業の現場では、とかく即戦力としての人材を求めがちだが、私はそんなスーパールーキーはいないと思っている。私の経験上、採用後５～６年はもがき苦しむのが普通だ。そうでなければ、後の伸びが期待できない。誰でもそんな時期はある。苦しい時期にも真摯に謙虚に仕事と向き合い、もがき苦しみ、努力で前に進んでいくことが、仕事人としてのスキルを上げていくのではなかろうか。それが自分を磨くことにつながると思う。

GW「調子に乗らない」こと

本格的にゴールデン・ウィーク（GW）に入りますね。各ご家庭でも計画が立てられていることと思います。私澤田、人ごみが嫌いで、多分どこへも行かず、家でゴロゴロか近くの立田山に散策です、いや、プラモデルを作ろう、いや、読書をしよう、いやメダカのタライを洗おう…。やりたいことはたくさんあるのに、先立つ物がないので、「コスパが良いものを選んでしまう私です。

さて、GWは私たちにとって心配な時期でもあります。自由な時間とお金が出回る時期といってもいいでしょう。また、夏休みや冬休み等とは違って、４月の慌しさを過ぎ、緊張感も下がって、羽を伸ばす子どもも多いのです。羽を伸ばすというと聞こえが良いのですが、度を越えた行為については、大人が厳しく対処しなければなりません。分かりやすい言葉で表現すると「調子に乗らないように」ということです。教師もGW中は休養も取りますが、「生徒指導アンテナ」の感度を上げる時期でもあります。

これまで何度もお話をしてきたのですが、更にお話します。なぜ子ども達のルール違反や生徒指導上のトラブル、安全面でのトラブル等について、我々教師がロやかましく厳しく指導するのか？　それは、私たち教師の経験に基づいています。これまで多くの子ども達を担任、指導させて頂いた中で、その子がどのような進路をたどるのか、あるいは家族がどのような思いをされるのかを知っているからです。生徒指導上のトラブル等は、将来の本人や家族に大きな影響を与えるからなのです。逆に、物事を正しく判断し、ルールをきちんと守る子や、思慮分別のある子はルール違反もしませんし、「君子危うきに近寄らず」で、危険を冒す（ルールを破る）前に行動を修正します。その力は正に生きる力といってもいいでしょう。また、ルールを守ることが出来ないと、将来の自分の可能性を低くしていることにもなります。そのことを大人は伝えなければなりません。その最前線が保護者である皆様であり、私たち教師であり、地域住民の皆様でもあります。有意義なGWを過ごせることを祈っています。

シリーズ「自分を語る」#93

沖縄での研修は基本的にレンタカーでの移動でした。沖縄県は狭いのですが、公共交通機関での移動は時間がかかって勿体ないですからね。私個人としては「美ら海水族館」に行きたかったのですが日程的に無理で、チェさんと相談の結果、平和に関する施設を視察することになりました。とは言え、首里城（火災前に行きました）には行きました。沖縄到着県庁挨拶後に、閉園間近の5時過ぎでした。首里城を走って観光する韓国人と日本人の〝オッサンズ〟２人なのでした。

平和に関する施設は、平和祈念公園です。ハブ研究室視察後の訪問でした。平和の礎、資料館等、広大なスペースに多くの学習の場がありました。ここを見学して改めて思うことは、チェさんは韓国人、私は日本人…、でも同じ地球に住んでいる…、個人レベルではこんなに仲良くできるのに、歴史を紐解くと両国には暗い歴史もある…、でも個人レベルでは…、そんな思考の繰り返しが続くことでした。国際ニュースを見れば皆様も分かる通りですが、国家間では何故に争いが続くのか？　不思議です。私は国際課に勤務しましたが、国際問題や世界史については素人ですから、もう少し歴史を学ばないといけないと思いました。日本は島国ですから、国境を接する世界の国々とは少々環境に違いがあります。いつ他国が攻めてくるか分からないというような危機感は歴史的に見ても日本には低かったようです。そんな中、内戦だけは多かったのが日本ですね。そうこうしているうちに、黒船来航というとんでもない事件が起きて、江戸幕府が大わらわ。その頃からなのでしょう、日本が世界の中の日本を意識するようになったのは。考えてみれば、お隣の朝鮮半島情勢を考えると分かりますよね、北と南はまだ戦争状態にあって、「ああじゃないこうじゃない」と駆け引きをやっている。日本では国境線の問題はあまり出てきませんが、最近は、尖閣諸島の問題や竹島問題が取り沙汰されていますね。その最前線を私達国民が自らの問題として捉えているかどうかは、私も含めて疑問です。そして、今私が思うことは、同じ地球に住む1人として、地球のために何ができるか、何が考えなければならないような気がしています。

すっかり堅い話になりましたので、オッサンズの話に戻ります。２人の多国籍オッサンズはレンタカーで移動中、「おきなわワールド ハブ博物公園」という看板を発見！　行くしかないとその場のノリに流され、中へ。何でも、「ハブ使いショー」なるものがあるようで、チェさんはノリノリで「見たい！」という始末。ま、これも国際協力という無理な理由付けで観覧することに。何でも昔は、ハブとマングースの対決ショーだったそうで、動物愛護の視点から現在はできないそうでした。それにしても、ハブの超絶能力は凄いですよ。鼻のような顔の穴で熱を感知し、熱源に向かって咬みつくそうです。そして、ハブのえげつない所は毒を注入する牙が長いことと、注入する毒の量が多いということだそうです。そんなショーを見た後、また、山の中をレンタカーで移動する二人。どこを見ても草むらです。そこかしこにハブがいそうで、緊張感のあるドライブでした。２日目の研修終了後は、国際通り（那覇市の観光通りですなぁ）へ！一日の緊張感を癒す心地よい時間を過ごすことに！　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　　可　・　不可　）